

プログラム

午後5:00～5:05

開会の辞

ダレン・タンWIPO事務局長

午後5:05～5:25

パネルディスカッション: クリエイターの権利を知る

曲作りには情熱が必要ですが、アーティストはそれと同時に生計も立てなければなりません。音楽クリエイターが自分の権利をどのように管理しているのか、どのような苦勞があるのか、楽曲が使用された際には功績が認知されて対価を得られるようにするには何が必要なのか、議論します。

司会: ダレン・タンWIPO事務局長

- ビョルン・ウルヴァース氏 (ソングライター/プロデューサー、ABBAのメンバー、Music Rights Awareness Foundation共同設立者)
- Poundo Gomis氏 (アーティスト)
- Ilira Gashi氏 (シンガーソングライター)
- Gabriel Zufferey氏 (ピアニスト/作曲家)

午後5:25～5:40

CLIPプラットフォームのプレゼンテーション

CLIPの最初のリリースでは、音楽業界に焦点をあてます。楽曲が使用された際には功績が認知されて対価を得られるように、楽曲を市場に出すのにどのような人が関与するのかといった業界のエコシステムや、音楽クリエイターの様々な権利とその管理方法など、多くのことを学ぶ機会を提供します。

- Niclas Molinder氏 (Music Rights Awareness Foundation共同設立者)
- Benoît Müller氏 (WIPO著作権管理担当部長)

午後5:40～6:00

パフォーマンス

- Poundo 氏

ストーリーテラーと自ら称する、カリスマ性と神秘性に溢れたセネガル系フランス人のシンガーソングライター、Poundo Gomis氏は、ニューヨークとパリを拠点に活動しており、トラップ/ドリル・サウンドとマンディンカ族の音楽を融合した、多言語で育った自身の生い立ちを反映したユニークな作品を創作しています。先祖伝来の知識を守り続ける同氏による力強いパフォーマンスをお楽しみください。

午後6:00～7:00

レセプションパーティー

時刻はいつでも
中央ヨーロッパ標準時